


令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 北九州市 】

学校名【 北九州市立大蔵中学校 】


1 実践テーマ	①・II・③・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者  （学年・人数）	全学年 1年生26名、2年生38名、3年生34名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ( )</p> <p>② 行事名 (ブラインドサッカー講演会)</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが気持ちよく生きるために必要なことについて自分の考えを持ち、実践していく態度を養う。</li> <li>ブラインドサッカーを通じて視覚に障害を持った方の苦勞や工夫を知り、共生する社会の構築のきっかけを作る。</li> </ul>
5 取組内容	<p>○講演で視覚障害者についての説明やブラインドサッカーについて競技の説明と実際に試合の様子を視聴した。</p> 

○ステージの上でポーズをとったモデルにアイマスクをした人に補助の人が口頭で教えて同じポーズを取らせようとするがなかなかうまくいかない。



○アイマスクを付けて補助を付けて移動したが、見えないことから恐怖心が芽生えてスムーズに動けない。



	<p>○アイマスクをしてサッカーボールを蹴る活動を行い、大変さを体験した。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○事前学習でブラインドサッカーのゲームを見ていたが、実際にアイマスクをつけて行動することで視覚障害者の立場を理解することができた。</p> <p>○日常生活での不自由さなどについて共感しやすくなった。また、バリアフリーやユニバーサルデザインの大切さに気付き、偏見や差別等の人権尊重の面でも多くのことを館jにとることができた。</p> <p>○ブラインドサッカーを体験することで競技の楽しさや難しさを理解することができた。</p> <p>○障害者スポーツを体験し、各自の感想を発表することで周りの考えにも気づき、今後の共生社会への生き方について考えるきっかけになった。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○コロナウイルス感染症対策と視覚障害者の立場が体験できるように全員にアイマスクを用意した。</p> <p>○密にならないように活動に応じてグループ分けをしながら体験学習を行った。</p> <p>○安全に留意して怪我防止の視点から体育館のフロアの危険物の排除や職員配置の工夫などを行った。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○体験学習決定までに時間がかかり多くの時間を費やした。スムーズにいく手立てを講じる必要がある。</p> <p>○アイマスクをしての活動なので十分なスペースが必要なので一斉にできない活動が出てくる。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○今後も障害者スポーツを通じてパラリンピック競技について知る活動をきっかけとし、障害者への理解を深める学習や体力向上の取組を行っていく予定である。</p> <p>今後、パラリンピックについての意欲、関心を高めるとともに、一層理解を深めていきたい。</p>